

# 児童の活動

---

2025年11月



# 【1年】いちごの苗うえ

---



地域の「いちごの先生」にご指導いただき、イチゴの苗植えを体験しました。

まず、育苗ポットから苗をそっと取り出し、根を傷めないように注意しながら穴の中に丁寧に定植しました。

これから冬を越し、実がなるまでの成長をみんなで見守ります。2年生になったら収穫し、みんなで味わうのを楽しみにしています。

地域の方々との交流を通して、食べ物を育てる大切さや感謝の気持ちを学ぶ、貴重な体験となりました。

## 【2年】2つの地区に町たんけん！！

---



11月に「藤江地区」と「川島地区」へ町たんけんに出かけました。

それぞれの地区にあるお店や町の様子などを見て、町ごとの特色に触れることができました。

お店の方に質問するときには、少し緊張しながらも自分の言葉で丁寧に尋ねることができました。

また、地域について新しい発見を楽しむ声もたくさんあがっていました。

実際に歩いて見て学ぶことで、日頃暮らしている町により親しみをもつ良い機会となりました。

## 【3年】消防署・警察署見学

---



11月頃から、社会科で「わたしたちの暮らしを守る人々」について学習してきました。そして、11月17日に、高島市消防本部と高島警察署へ見学に行きました。

消防署では建物の中を見学させてもらった後、いろいろな消防自動車や出動の際の迅速な動きを見せていただきました。

警察署では、仕事の内容についてお話を聞かせていただいたり、警察官が身に付けておられるベストを試着させていただきました。

子ども達は、地域の安全を守る仕事の大切さを実感していました。今回の見学を通して、「自分たちの暮らしが多くの人々に支えられていること」を学び、感謝の気持ちを深めることができました。

## 【4年】国語科「新スポーツを考えよう」

---



4年生の国語科では、「新スポーツを考えよう」の学習に取り組みました。子どもたちは、身の回りにあるものを使いながら、誰でも楽しめる新しいスポーツづくりに挑戦しました。

話し合いを重ねる中で、「安全で遊びやすいスポーツにしたい」という思いから、子どもたちが考えたのは『ペットボトルボーリング』です。ペットボトルをピンに見立て、投げるボールの大きさや距離、倒れた数の数え方など、自分たちでルールを工夫して決めていきました。



発表では、実際にどのように遊ぶのかを動きながら説明する姿も見られ、聞いている子どもたちからも「楽しそう!」という声が上がりました。自分たちで考えたことを、相手にわかりやすく伝える力が育った学習となりました。

## 【5年】減塩教室



健康推進課・健康推進員・栄養教諭・サンクチュアリコート琵琶湖のホテル従業員の方にご支援していただきながら「減塩教室」をしました。

減塩がなぜ必要なのかや、普段の食生活で減塩をするための工夫など、たくさんのことを教えていただきました。実際にサンクチュアリコート琵琶湖で使用されている「だし」の試飲をしました。昆布を水出ししただしを飲み比べ、時間による味や香り、色の違いを感じる貴重な体験となりました。

栄養バランスが考えられた具たくさんのみそ汁、その名も「やかましいみそしる」の調理に挑戦しました。子どもたちは、これまでの調理実習で身につけた技能を生かし、包丁で野菜を切ったり、洗い物をしたりと、てきぱきと作業していました。

だしのうま味を感じながら、減塩の大切さを実感できる楽しく学びのある時間となりました。

# 【6年】近江牛について知ろう

～食の大切さを学ぶ～



11月20日の2時間目に、近江牛の生産者に携わる方をお招きし、「近江牛について知ろう」という学習を行いました。

牛を育てる過程や、消費者に届くまでにかかる手間や時間についてお話を伺い、命をいただくことの大切さについて考える機会となりました。

また、「自分達の将来について」というテーマで話をいただきました。

「叶う」という字から「自分でその夢についてたくさん語るにより実現するんだよ」と、キャリア教育に繋がる内容を自分の思いとして語ってくださりました。